

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38015
事業名	ITイノベーション推進費					
評価担当課	所 属	経)経済戦略推 イノベーション			電話番号	011-211-2379
施策名	IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市は国内有数のIT産業の集積地である一方、受託開発を中心として同業他社や官公庁の需要への依存度が高く、売上が景気動向や元請けの意向に左右されやすいという課題がある。 社会全体のIT需要の一層の伸び、特に、AI等の先端技術を活用した市場の拡大が見込まれていることを踏まえ、市内IT企業が今後成長していくためには、先端技術を生かした新たなビジネスの創出や他産業の企業ニーズを踏まえた独自の製品やサービスの開発を支援し、新たな市場の開拓を図ることが求められる。
	事業内容(何を実施し)	①産学官連携コンソーシアムの運営(技術者向けセミナーやAI人材育成プログラムの開催、リーディングプロジェクト及びビジネスコーディネーションの実施など) ②市内IT産業の国内外向けPR ③札幌AI道場(実課題に基づく課題解決型AI人材育成とAI開発の実証を同時に行うプログラム) ④DXモデル創出補助金 ⑤ITバイオ研究開発補助金 ⑥ニアショア向け支援
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	○先端技術によるイノベーションの創出と、それが持続的にビジネスに繋がるエコシステムの構築 ○市内IT産業の競争力向上、市場拡大の実現
	他都市の状況	・経済産業省及び(独)情報処理推進機構(IPA)による「地方版IoT推進ラボ」及び「地域DX推進ラボ」…全国110のラボが活動中 ・先端テクノロジー・データ利活用ユースケース創出支援事業(仙台市)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	45,199 千円	うち特定財源	11,588 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度予算額	93,000 千円	うち特定財源	25,600 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和5年度決算額	85,707 千円	うち特定財源	20,854 千円	正規職員業務量	0.6 人工
令和6年度予算額	92,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	新たなデジタルサービスの創出支援件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		5件	4件	4件	4件	4件	4件
	↓						
	アウトカム成果指標1	市内IT産業売上高				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		4,623億円	4,800億円	5,168億円(見込)	4,900億円	5,000億円	5,100億円
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標、成果指標ともに堅調に推移しており目標を達成できている。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	先端技術を活用したソリューション等の開発を支援する補助制度「デジタル・イノベーション創出補助金」を開始
来年度以降の方向性	札幌AI道場やデジタル・イノベーション創出補助金、展示会出展支援等を通じて、先端技術を活用した技術力向上やビジネス創出、販路拡大を引き続き支援していく。